

## 研究のために、あなたのカルテの情報を使用させていただきます

### ◎対象となる患者さん：脳神経外科にて入院・治療、手術を受けた方

#### 1. 研究の題名 『一般社団法人日本脳神経外科学会データベース研究事業 (Japan Neurosurgical Database:JND) 』

＜研究期間＞ 令和5(2023)年10月1日 ～ 令和10(2028)年9月30日

#### 2. 利用目的 及び 利用方法

＜利用目的＞ この研究は、当院脳神経外科で治療、手術を受けられた患者さんのカルテや検査結果などの情報を「一般社団法人日本脳神経外科学会データベース」へ登録を行います。

また、この研究は、山形大学医学部先進医学講座を中心として全国における脳神経外科の医療施設が集まり、共同で登録、研究を行います。登録された多くの患者さんの医療情報を分析・検討することで、脳神経外科領域の病気で手術・治療を受けた患者さんのその後の経過やその予測、合併症の危険性などを明らかにしていきます。

この研究により、脳神経外科の病気に関する新たな手術法の発見や早期の回復方法の開発など、将来、脳神経外科領域における医療の向上に貢献していきます。

＜利用方法＞ 利用 ・ 提供

#### 3. 以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

＜対象期間＞ 令和5(2023)年10月1日 ～ 令和10(2028)年9月30日

#### 4. 本研究で提供する試料・情報について

本研究に関して診療記録 から 以下の情報を取得します。

- ①患者情報: 生年(生年のみ必須)、年齢、性別、登録の拒否申請、患者居住地の所在地情報、発症日、発症前 mRankin scale
- ②主治医情報
- ③入院情報: 入院年月日、入院経路、予定入院／緊急入院、救急搬送の有無
- ④退院情報: 退院年月日、在院日数、退院先、退院時 mRankin Scale、退院時 Glasgow Outcome Scale (GOS)
- ⑤診療目的: 診断検査、教育入院、内科治療、手術、化学療法、放射線治療、リハビリテーション、終末期管理、その他
- ⑦診断検査: CT、MRI、脳波、核医学、高次脳機能検査、脊髄造影、カテーテル血管造影／読影
- ⑧内科治療: 抗血小板療法、抗凝固療法、脳保護療法、抗浮腫療法、けいれん、てんかん、薬物療法、頭痛、薬物療法、モニタリング下の神経集中治療、感染症治療
- ⑨化学療法
- ⑩放射線療法: 定位放射線治療、定位放射線治療以外
- ⑪手術: 大分類 (以下、大分類ごとに、主病名、発症形式、術式を登録)  
・脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷、水頭症／奇形、脊髄／脊椎／末梢神経、脳症／感染症／炎症性疾患／その他

- ・主病名: 発症形式／受傷機転(頭部外傷のみ)
- ・術式

⑫手術情報: 手術日、手術時年齢、術式分類、術者、指導的助手、開頭術者、助手、見学、麻酔法、手術回数

## ■本研究で提供する 情報の詳細

<提供を行う機関の名称及び長> 株式会社麻生 飯塚病院 院長 本村健太

<研究責任者名(多機関共同研究の場合、研究代表者名)>

- ・研究責任者: 山形大学医学部先進医学講座 嘉山 孝正

## 5. 利用する者の範囲

取得した情報は、飯塚病院の下記研究責任者において使用します。

名取 良弘(研究責任者)

## 6. 情報)の管理の責任者について

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様に責任を持ちます。

- ・主管施設名: 山形大学医学部先進医学講座
- ・研究責任者: 山形大学医学部先進医学講座 嘉山 孝正
- ・この研究についての情報公開先(その他の共同研究施設):  
一般社団法人日本脳神経外科学会のホームページ <http://jns.umin.ac.jp/public/pdf/studyinfo-3.pdf>

## 7. 試料・情報の利用 及び 他の研究機関への提供の停止を希望する患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記の連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、患者さんやご家族が不利益を被ることは一切ございませんので、どうぞご安心ください。また、この研究に関する計画書を、研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

<連絡先> 飯塚病院 0948-22-3800 (代表)

<担当者> 脳神経外科 名取 良弘